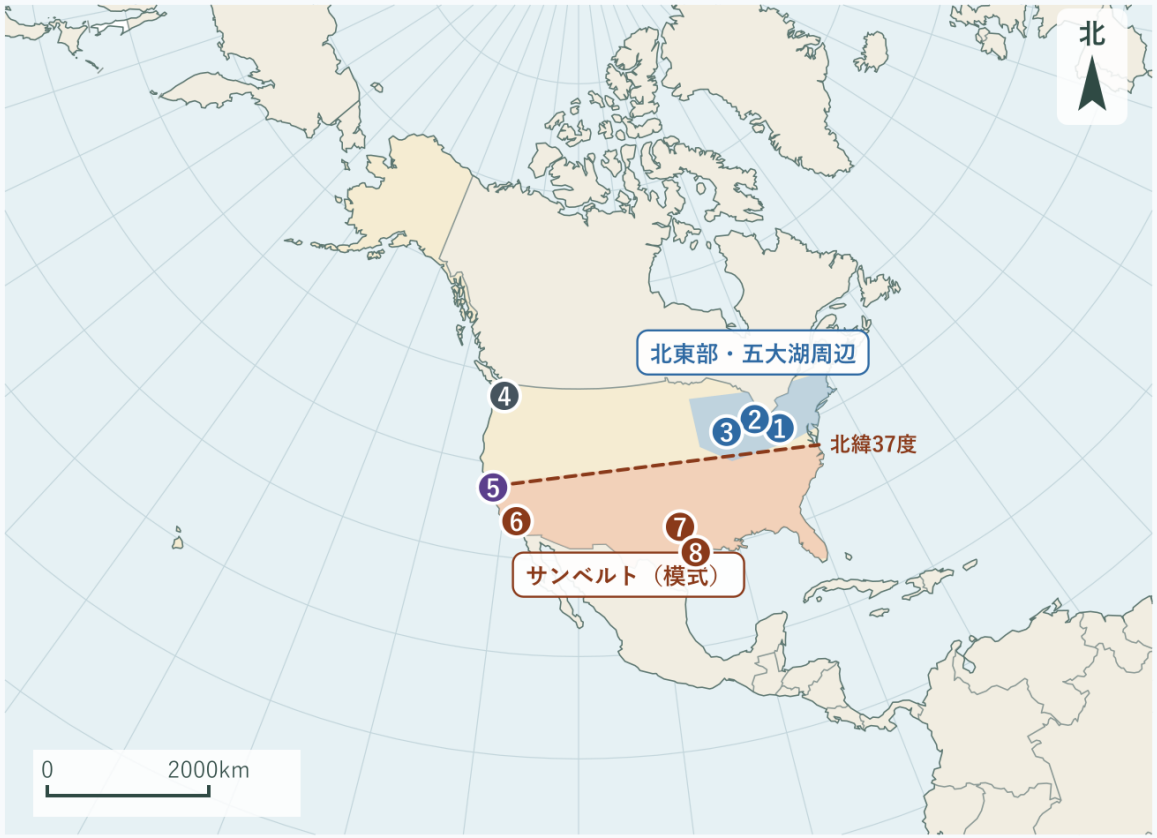
アメリカの工業の移り変わり

アメリカの工業の中心は、なぜ、どのように移っていったか



1 ピッツバーグ：鉄鋼
2 デトロイト：自動車
3 シカゴ：鉄鋼・食品
4 シアトル：航空機
5 シリコンバレー：情報通信
6 ロサンゼルス：航空機
7 ダラス：電子
8 ヒューストン：航空宇宙・石油化学
かつての中心（模式）
サンベルト（模式）

工業の中心が移る

北東部・五大湖周辺

石炭・鉄鉱石と水運を生かし、
鉄鋼や自動車の工業が発達

↓

1970年代ごろから

日本などとの競争で、鉄鋼・自動車の
工業がふるわなくなる地域も

↓

サンベルトへ

温暖で土地が広く、賃金が比較的安い。
航空宇宙・電子・石油化学が発達

↓

シリコンバレー

大学・研究機関と結び付き、
情報通信技術（ICT）の企業が集まる

範囲は大まかな模式。都市の工業は代表的な例。